



Creative Application A12

# 美のメディア論1：メディアモデル - 存在と美

2023年度

渡邊 賢悟 (渡辺電気株式会社)

# 受講のてびき

---

- ・ 本資料は作成者の解釈が含まれます  
解釈違いや、答えのない議論があります
- ・ 前半：1テーマの座学
- ・ 後半：テーマを深める質問と考察
- ・ 気になる点をメモして受講してください

# 資料の見方

---

テーマに沿った項目  
(座学で説明します)

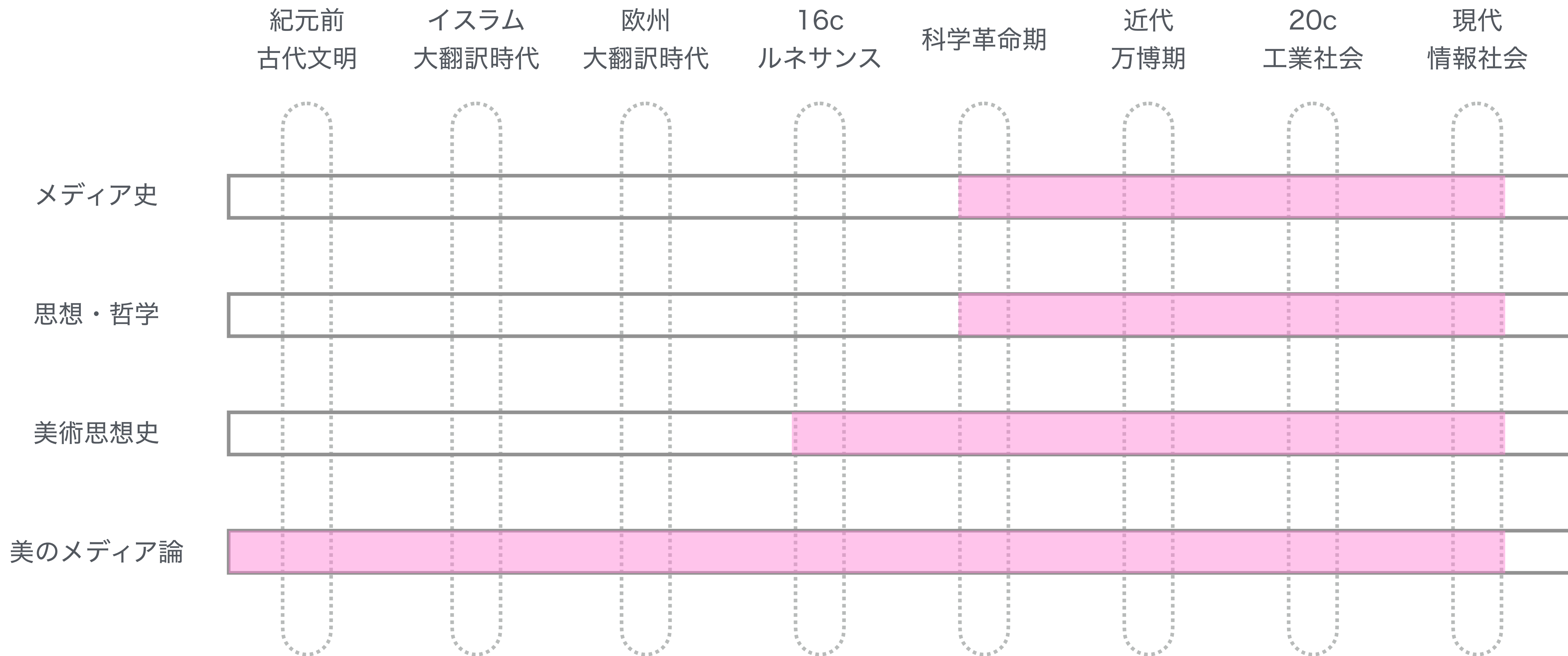
左の内容に関連した  
補足キーワード  
(調べ物に役立ててください)

# 本日のテーマ

---

- ▶ **メディア化の中で、存在と美に思いを馳せる**

# 演習の領域



# 思考・美・存在・メディアの整理

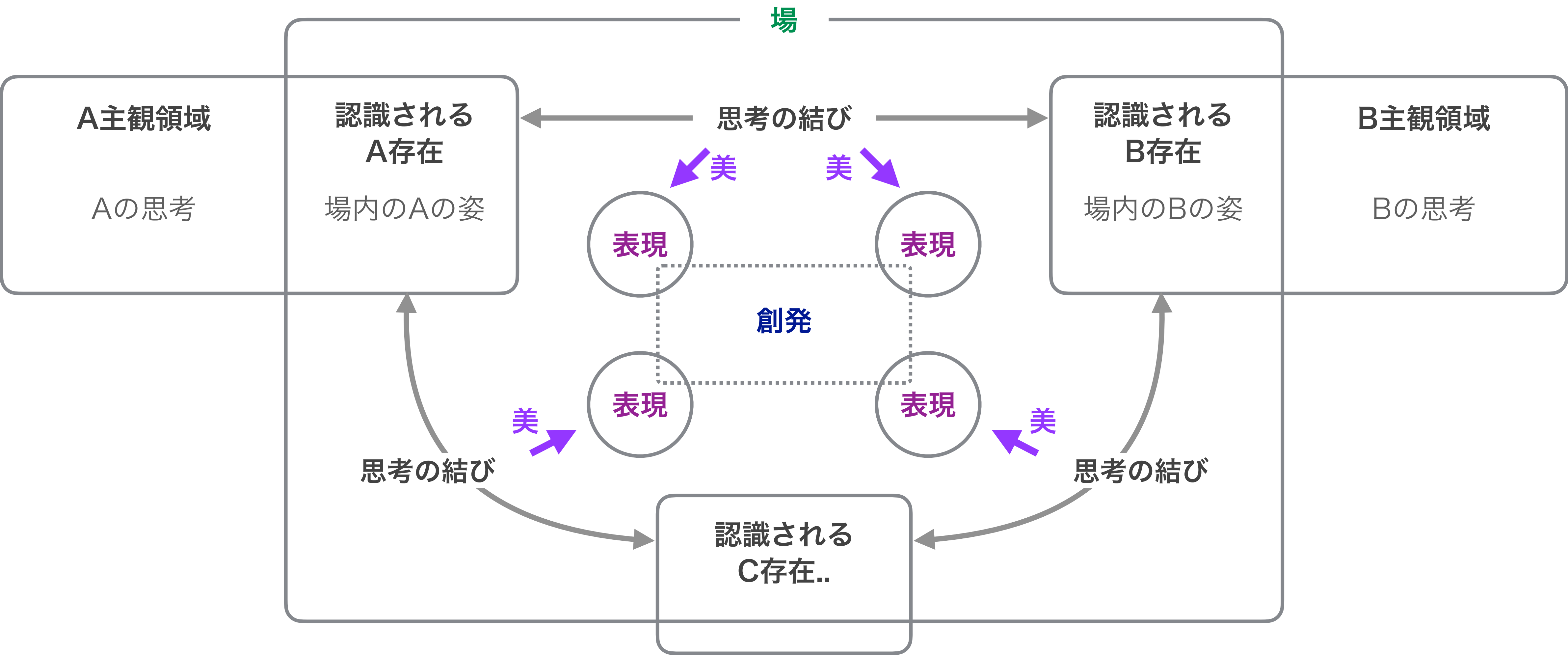
---

- ▶ これまでのテーマを整理し，深化させる
  - ▶ 個人の思考と結び(メディア化)
  - ▶ 美の主観性と普遍性
  - ▶ 存在・実在・リアリティ
  - ▶ メディアサイクル

## 関連キーワード

- 主客弁別と主客不可分
- 存在論と認識論, 新実在論
- もののあはれ, 幽玄
- メディア化, メディアサイクル

# メディア・モデル(2020 渡邊)



# モデル考察1：場と主観と存在

---

- ▶ **主観と認識される存在の共存**
  - ▶ 主観は、場で異なる存在として認識される
    - ▶ 異なるが実質同じ (Virtual, 分身)
  - ▶ 場は、存在が互いを認識しあい成立する
  
- ▶ **存在は場ごとに発生する。実在を疑わなくて良い**
- ▶ **認識と存在は場で変化する。主観領域とズレて良い**

## 関連キーワード

- カント, 批判哲学, 認識論
- ガブリエル, 新実在論
- 諸行無常, 諸法無我
- Virtual Reality, アバター



# モデル考察2：美と表現

---

## ▶ 思考の結びの質を高める過程と美

- ▶ 参加者は結びを良くしようと試みる
- ▶ 表現に主観的な美が練り込まれる

## ▶ 表現時の美に普遍性が伴うことで、

**他者も揺り動かす情動を生む**

### 関連キーワード

- 美の主観性・普遍性
- バウムガルテン, 美学
- もののあはれ
- 思考の結び, メディア化
- デッサン, ディセーニョ

# メディア化の中で、存在と美に思いを馳せる

---

- ▶ メディア・モデルの提唱
  - ▶ “主観”と”場の自分”の並立性
  - ▶ 思考の結びの改善で発露する美
  - ▶ 場で変化する存在と認識，ズレの発生の理解
- ▶ **存在や認識のズレ，美の発露を考察し，  
メディア化の促進を模索する**

# 本日の議論・考察一助

---

- a. メディアモデルの具体的な適用例はなんだろうか
- b. メディアモデルの応用は何か考えられるだろうか
- c. その他, 今回の内容で深めたいところがあれば

# 次回予定

---

- ▶ **美のメディア論2：これからのメディア社会**

# 参考文献

---

1. ウンベルト・エーコ著, 河島 英昭訳, 「薔薇の名前」, 東京創元社, 1990
2. マーシャル・マクルーハン著, 栗原 裕訳, 河本 仲聖訳, 「メディア論 人間の拡張の諸相」, みすず書房, 1987
3. 岡本 裕一郎, 「いま世界の哲学者が考えていること」, ダイヤモンド社, 2016
4. 竹田 青嗣, 「現象学入門」, NHK出版, 1989
5. 西垣 通, 「AI原論 神の支配と人間の自由」, 講談社選書メチエ, 2018
6. 藤田 一照, 山下 良道, 「アップデートする仏教」, 幻冬舎, 2013
7. 永井 均, 藤田 一照, 山下 良道, 「仏教3.0を哲学する」, 春秋社, 2016
8. 森田真生, 「数学する身体」, 新潮社, 2018
9. クァンタン・メイヤスー著, 千葉雅也訳, 大橋 完太郎訳, 星野 太訳, 「有限性の後で」, 人文書院, 2016
10. マルクス・ガブリエル著, 清水 一浩訳, 「なぜ世界は存在しないのか」, 講談社選書メチエ, 2018